

「わが家の防災タイムライン(土砂災害版)」を作成しよう！

中学生
大人用

1. 土砂災害から身を守ろう

大雨が降って山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が流れてきたりする災害のことを**土砂災害**と言います。

土砂災害は、家や田畑、道路を壊し、人の命まで奪ってしまう**おそろしい災害**です。しかし、**大雨による土砂災害は、突然起こる災害ではありません。日頃から危険な場所や緊急避難場所を調べておき、危険を感じたら早めに避難して、自分や家族、大切な人の命を守りましょう。**

※地震で土砂災害が発生することもあります。地震発生時はすぐに危険な場所から離れましょう。



出典:平成23年7月新潟・福島豪雨および平成25年7月豪雨による土砂災害の記録、新潟県

2. 土砂災害の危険な場所を知ろう

土砂災害には、**3つの種類(がけ崩れ・土石流・地すべり)**があります。

まずは、**土砂災害ハザードマップ**で自分の家を見つけましょう。

自分の家を見つけたら、**土砂災害警戒区域**に入っていないか、**土砂災害警戒区域**に入っていない**緊急避難場所**はどこかを調べましょう。



チェック！
長岡市土砂災害ハザードマップで調べよう！



長岡市土砂災害ハザードマップ 検索

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれのある区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物が損壊し住民に大きな被害が生じるおそれのある区域

土砂災害警戒区域とは？

法律に基づいて指定された土砂災害のおそれのある区域のことです。「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」と「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」の2種類があります。

警戒区域内で土砂災害が発生すると、区域内の建物や道路は壊れて、人の命に危険がせまります。レッドゾーンは中でも特に危険な場所です。

	がけ崩れ	土石流	地すべり
説明	山やがけなどが崩れて、大量の石や土が崩れ落ちてくること 出典:新潟県防災教育プログラム【土砂災害編】	山や谷の石、土砂や木などが、雨水や川の水と一緒に流れてくること 出典:新潟県防災教育プログラム【土砂災害編】	山の広い範囲の地面が、木や田んぼと一緒ににすべり落ちるように動いてくること 出典:新潟県防災教育プログラム【土砂災害編】
マップの見方	土砂災害警戒区域(イエローゾーン) 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	土砂災害警戒区域(イエローゾーン) 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

チェック！ 土砂災害ハザードマップを調べて、分かったことを書きましょう！

① 自宅や学校は **土砂災害警戒区域内** にありますか？

がけ崩れ 自宅(ある・ない) 学校(ある・ない) **土石流** 自宅(ある・ない) 学校(ある・ない) **地すべり** 自宅(ある・ない) 学校(ある・ない)

自宅が土砂災害警戒区域内にある人は、早めに土砂災害警戒区域外に避難！

② 自分の家の近くの **土砂災害警戒区域外**の**緊急避難場所** はどこですか？

3. 避難のための情報に注意しよう

土砂災害のおそれがある時には、気象庁などから**大雨警報(土砂災害)**や**土砂災害警戒情報**、市から**避難情報(警戒レベル)**が発表されます。これらの情報は**避難行動を判断する大切な情報**ですので、**注意**しましょう。

また、土砂災害は**前兆現象が発生することがあります。山や斜面の変化にも気を付けましょう。**

① 避難のための情報はどのようにして集めますか？

資料「避難のための情報の集め方」を確認して書きましょう。

市が発表する情報	情報の意味	情報を集める方法は？
警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者等、避難行動に時間を要する方に対し、土砂災害警戒区域外への避難を呼びかけるために発令 高齢者等以外の人も避難の準備を行い、周囲の気象状況等の変化に十分注意する。	
警戒レベル4 避難指示	危険な場所から全員が土砂災害警戒区域外などへの避難をする必要がある段階で発令 周囲の気象状況等の変化に十分注意し、危険な場所から離れる。	
警戒レベル5 緊急安全確保	災害がすでに発生または差し迫った段階で発令 直ちに身の安全を確保し、命を守る。	

② 土砂災害の前兆現象にはどのようなものがありますか？調べて書きましょう。

	がけ崩れ	土石流	地すべり
前兆現象			

4. 早めの避難行動を心がけよう

土砂災害警戒情報が発表されたら、市からの**避難情報**に**注意**し、**早めに土砂災害警戒区域外にある緊急避難場所や安全な場所に避難**しましょう。

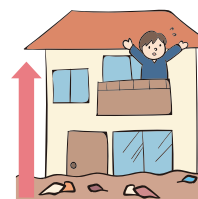
また、土砂災害の**前兆現象**に気付いたときは、**周囲の人にも知らせて早めに避難**しましょう。**夜間**や**すでに道路が水に浸かっている**など、**緊急避難場所までの避難が難しい**ときは、無理に屋外に避難せず、**山やがけの反対側の2階以上の部屋に避難**しましょう。



緊急避難場所や安全な場所に避難



すぐに山の斜面やがけから離れる



山やがけの反対側の2階以上の部屋に避難

資料提供:NPO法人土砂災害防止広報センター

資料提供:NPO法人土砂災害防止広報センター

出典:やってみよう!家族防災会議、新潟県防災企画課

5. 「わが家の防災タイムライン(土砂災害版)」を作成しよう!

わが家の
防災タイムライン
(土砂災害版)とは?

「**わが家の防災タイムライン(土砂災害版)**」とは、事前^{じ ぜん}に予想^{よ ぞう}できる大雨^{おお あめ}による土砂災害^{ど しゃ さい がい}に備^{そな}えて、自分^{じ ぶん}や家族^{か ぞく}のとるべき行動^{こう ぐう}を整理^{せい り}し、時間^{じ かん}ごとにまとめた「避難行動^{ひ ん かん こう ぐう}の計画^{けい かく}」です。

「いつ」「どのような準備^{じ ゅん び}や行動^{こう ぐう}をするか」を決めておくことで、いざという時も落ち着いて行動^{こう ぐう}できます。



じぶん いややそのまわに土砂災害警戒区域がないか、
 緊急避難場所や安全な場所はどこかを確認して、
 「家族全員が安全に避難するための準備や行動」を
 考えましょう。

ねん 年	くみ 組	ばん 番
し めい 氏名		

[illegible]